

社会医療法人清恵会 清恵会医療専門学院 清恵会第二医療専門学院

2019年度 自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

評価対象期間 自：2019年4月 1日
至：2020年3月31日

清恵会医療専門学院	第1看護学科	点検・評価項目総括回答責任者：	教務科長
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	第2看護学科	点検・評価項目総括回答責任者：	教務科長
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	准看護学科	点検・評価項目総括回答責任者：	教務副部長
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
清恵会第二医療専門学院	理学療法士科	点検・評価項目総括回答責任者：	主任
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	放射線技師科1部	点検・評価項目総括回答責任者：	主任
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
	放射線技師科2部	点検・評価項目総括回答責任者：	主任
		課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務部長
清恵会医療専門学院	全3学科	学校関係者評価・特記事項回答責任者：	学院長、事務長
清恵会第二医療専門学院	全3学科	学校関係者評価・特記事項回答責任者：	学院長、事務長

清恵会医療専門学院 第1看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目標を学生ガイダンス、ホームページ、学生募集要項に記載し、入学時だけでなく、実習ガイダンス等学生に周知するよう努めている。	教育理念・目的・目標は、学則に定められている。また、学生にも周知を図るため入学時に新入生ガイダンスを配布し説明している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門の知識・技術・態度を育成し100%の就職率を維持しているが、社会の変化に対応した専門職としての資質は十分ではない。カリキュラム改正に向けて、育人材像を見直している段階である。	専門の知識・技術・態度を身につけ、社会に対応できる看護専門職の育成に努めている。就職率は100%ではあるが、卒業後の継続状況についての追跡調査・分析は追いついていないため、母体病院との連携を今後も図っていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念に掲げてある「社会の変化に対応できる看護専門職を育成する」を基盤に、専門職としての技術・知識・態度を修得できるよう、講義・実習の充実に取り組んでいる。	病院附属の学校であることや1クラス少人数制、担任制などの特色を生かし、集団活動及び個別に応じた学生指導に力を注いでいる。講義や演習・実習ではアクティブラーニングを積極的に取り入れ、学生が主体的に学んでいけるよう日々取り組んでいる	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育で培われた経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	地域包括ケアシステムを見据えた教育内容の構成に取り組んでいるが、今後の大学化や4年制への将来構想は明確化されていない。カリキュラム改正にむけて今後の看護教育を見直している段階である。	地域包括ケアシステムの構想を踏まえ、あらゆる場所で活躍できる看護専門職の育成が必要と考える。臨床判断能力、多職種連携、保健指導力などのスキルを看護基礎教育で身につけるため、2022年の新カリキュラム改正に向け、現行のカリキュラム評価に取り組んでいるところである。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められている。月1回の運営会議を開催し、状況報告や理事会の報告、また決定した方針等は他学科と共有している。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議にて、学校運営方針を確認し、看護学科、放射線技師科、理学療法士科と取り組み状況について情報の共有を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められており、各学科の年間教育目標を設定している。また、学科目標から、各学年目標を設定し個人目標へ繋げている。	法人の中長期計画に基づき、学院の事業方針が定められている。運営会議で事業方針を確認し、科長会、教務会で、全教員へも周知を図っている。事業方針に沿ってそれぞれの役割をもって業績目標を打ち出し、目標達成に向けて取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありがたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、事務長、各学科教務部長、教務科長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	学院長、事務長、各学科の教務科長をメンバーとする運営会議を月一回実施し、学校運営の適正化を図っている。看護学科は3課程あり、3課程合同の教務科長会、学科会議、教務会、各種委員会を設置・開催している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院長、教務部長、教務科長、主任、専任教員で構成し、各学年は担任、副担任で構成されている。教育理念・教育目標を達成できるように、また各領域ごと指導体制が整うように教員の配置を行っているが、専門性は充実できていない。但し、組織内の協力体制は整っている。	教員の業務分掌・服務規程は細則に定められており、教務科長と主任を含めた教員8名を配置している。教員の受け持つ各クラスの担任と副担任、また専門領域を明確にしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料においては設置主体の法人の規定に基づき決定・策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
	3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラムを構成し、各年次の教育内容、実施方針を編成している。学生には入学時、各年次において説明し周知を行っている。	教育理念に沿った教育課程は編成されている。学生には、作成した「教育カリキュラムガイダンス」を用いて説明し周知を行っている。新入生には、作成した「入学ガイダンス」を用いて、入学時にオリエンテーションを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各年次ごとの教育到達レベルを設定している。学則細則により、科目履修規定、評価点の基準を設定し、教員・学生の共有化を行っている。評価基準においては、ルーブリック評価を導入し、明確化を図っている。	修業年限に応じた教育到達レベルは、「教育カリキュラムガイダンス」に明確化している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程を編成し、入学生の状況にあわせた教育内容に取り組んでいる。月1回の学科会議を開催し、内容の検討を行っている。また、教科外活動は学生の態度面や感性の育成を重視した内容としている。カリキュラム内容は見直しを始めている段階である。	教育目的・目標に沿った教育課程の編成が実施されている。従業年限に応じた教育到達レベルの目標は、科目設定と科目目標に反映している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義においては、シラバスをもとに内部・外部講師の共有を図っている。実習では設置母体との合同調整会議を実施し、意見を反映させている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進捗状況など情報を共有し、シラバスをもとに積極的な意見交換を行い、より効果的な教育内容の充実に努力している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より社会人基礎力の修得に向けた取り組みを行っている。また、他学年との交流を行い、学習の意識づけや専門職としての自覚を育成している。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会を生き抜くための社会人基礎力の修得に向けて教育を実施している。実施した教育が具体的にどのようなキャリア教育へとつながるのか、卒後教育と照らし合わせ、明確にしていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に定められた専任教員数は確保できているが、大阪府看護教員養成講習会の未受講教員がいる。	看護師養成所の設置基準である臨床経験5年以上の条件は満たしているが、大阪府教員養成講習会の未受講教員が数名いる。但し、未受講教員は当学院で教育経験を積みながら、順次受講していく予定である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。課題としては、大阪府看護教員養成講習会未受講教員の講習会受講が挙げられる。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門性を高めるために1回/年の研修への参加を推奨している。また、教務会を開催し、資質向上への取り組みを行っている。教員指導・教育としては、教員経験年数に合わせた段階的な指導を行い、教育力の向上に努めている。そして、学生の状況に合わせた教授方法を話し合い、継続した教員教育に取り組んでいる。	施設外の研修では大阪府看護学校協議会・看護協会主催の研修会や学会、教育研修事業に参加し自己研鑽している。施設内では勉強会や伝達講習会などを開催し、教育の質向上に努めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価は行っているが、結果の活用には至っていない。実習においては、中間評価により後半への課題の明確化を行い最終評価に繋げている。	学生の授業評価は実施しているが、結果の活用は十分に図れていない。実習評価は学生と担当者の双方で行い、次に繋げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則や細則に基づき、規程の出席率を満たした者が学科試験・実習評価を受け、一定の評価以上で単位認定を行っている。実習においては、学科会議にかけ、評価の判定を行っている。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業・単位認定に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、運営会議で報告している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次には協同学習・ボランティア発表を行い、各学年とも実習終了後の報告会では教員も参加し、学びの共有・成果の把握をしている。	課題学習発表会やボランティア活動、実習報告会、事例研究発表会など、学年で企画・実施しており、学科の教員も参加し、成果を把握している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師資格の取得が目標であることは、入学時ガイダンスから始まり各実習ガイダンスで意識づけを行っている。国家試験を最終目標とし、逆向きに段階的な目標設定を意識づけている。	看護師国家資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程が資格取得の体系的な位置づけになっている。国家試験担当教員が年間計画を立て、明確化し、支援している。また、学科内で傾向と対策を立て、学生の状況に合わせた支援を行っている。	国家試験対策委員会を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は100%で設置主体法人への就職率は57%であった。	就職率は100%を維持している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	定期的な模擬試験や補習を行い、1年次より国家試験合格に向けて取り組んだ結果、2019年度の看護師国家試験合格率は97.2%であった。既卒生においては学習とメンタル面のサポートを行い、合格率は100%であった。	看護師国家試験合格率は今年度は97.2%であった。模擬試験や補習講義の成果を確認し、個別の学習対策やメンタルサポートを実施していた。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補習、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	クラス担任・副担任が窓口になり学科の教員で支援を行っている。メンタルサポートの必要な学生においては、必要時に法人保健師の紹介を行い、保健師のサポート及び協力を得ている。	担任を中心に個別の学生の面接や相談を行っている。学業不振や登校が常でない学生には早期に対応しており、今年度の退学者はいなかった。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	日本学生支援機構の他、法人の奨学金制度を案内しており、8~9割の学生が奨学金を受けている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績不振学生の保護者にも面談を行い、状況を把握した上で学生の支援に係る協力を得ている。必要時電話で状況を伝え、留年決定までに連携を図っており、保護者からの抗議や苦情はない。また、戴帽式後に保護者との交流会を実施し、保護者に教育方針や卒業までのスケジュール等を伝え、今後の学生生活に関心をもってサポートすることができる環境づくりに努力した。交流会では保護者から積極的な質問等があり、将来の不安等に対しては助言をし対応している。	成績不振者や出席が常でない学生に対し保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し、保護者との連携体制を構築している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上必要な最低限の教育用具は整備されており、随時購入している。校舎は、40年以上経過しており老朽化がみられるが、学生の学習に影響が出ないよう随時補修は行われている。	建物や教育用具の老朽化により、学習環境が十分に整備されていない。不具合が生じた場合は、直ちに補修工事や教育用具の整備を依頼し、実施している状況である。	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められているが、防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災に対する基本方針はあるが、防災訓練の実施内容・時期の見直しや災害時安否確認システムの整備などは喫緊の課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	5月に高校の進路指導教員対象の説明会を、当学院で実施した。また、大阪府看護協会・看護学校協議会共催の進学相談会に参加し、教育機関に対する情報提供・共有を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。ホームページには学生の状況など学生生活がイメージできるような内容を掲載しアクセス数も増加している。	学生募集活動は、事務職員と教員が連携し、教育活動に影響しない範囲で積極的に取り組んでいる。今後はホームページも効果的に活用し、当学院のアピール度を高めていきたい。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	今後、18歳人口の減少と養成校の乱立により受験生の確保が難しい状況になると予想される。この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。受験生は大幅な減少はなく、定員は確保できている。	入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい学生像を話し合い、選考基準を検討した。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学生個人の情報を取り扱うときは、目的を明確にし、必要な範囲内で情報を保ち、取り扱いには細心の注意を払っている。学生が実習時に患者情報を取り扱う場合は、学生ガイドランスや実習ガイドランス等でオリエンテーションを行ない、個人情報保護対策の周知徹底を行っている。実習での個人情報の取り扱いについては、学生と誓約書を交わし、個人情報保護の徹底に努めている。	学生や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。入学時や実習前、実習中や学校生活で生じた諸問題は全教員で情報を共有するように努めているが、看護者の倫理綱領にも個人情報保護や守秘義務に対する文言が明示してある様に、教員は学生や教職員以外の個人情報の取り扱いについても注意を払っている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育評価(授業評価・実習評価)は実施し、実習においては問題点の改善を行っている。教育活動においては、教員の意見を吸い上げ会議に諮るなど、学校経営への意識は持つようになった。	自校の教育活動その他の運営状態の自己点検・自己評価を行い、学校経営の現状の見直しが必要である。教員全員が学校経営への参加意識を持つことが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会医療専門学院 第2看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学案内、ホームページ上で、理念と特長についてを明確にしている。入学後は、早期に教育カリキュラムガイダンスを用いて、説明を行っている。各学年では、クラス目標として、機会毎に理念から関連付けて学生に意識を持たせている。	教育理念・目的・目標は学則に定めている。入学時オリエンテーションでガイダンスを実施しているが、学生が学校生活の中で理念・目的・育人材像を常に意識して学習や教科外活動に取り組んでいるかという点、不十分である。学生が理解をしたうえで目的・目標に向かえるように更に意識を高めていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目的・目標から各学年到達目標を設定している。入学案内にも、有資格者としてさらに専門職業人としての成長が図れるように知識・技術・感性を高め、社会の動向に対応できる応用力が求められることを掲げている。今後、保健・医療・福祉チームの中心となり地域で活躍できる看護師の育成も必要であると考えている。	教育理念にあるように「社会の変化に対応できる看護専門職を育成する」ために、自ら学び、主体的に行動できる学生を育成している。また、卒業時には、科学的根拠に基づき、対象に応じた看護が実践できる看護師になれるようにと考えているが、学生にも、社会で求められる看護師像を意識していけるように、社会の動向に関心を持たせていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念にあるように、感性と教養を高め、幅広い人間関係と科学的思考ができるような科目を設定している。また、自己学習力や発信力を高めるために、アクティブラーニングを取り入れている。各実習前には、社会人、医療人としてのマナーを身につけ、実習に臨めるようにマナー教育、看護倫理、医療安全の学習を行っている。学外活動は少ないが、感性を高める目的で文楽鑑賞を取り入れている。	第1・第2・准看護学科、理学、放射の学科があるため、その特徴を生かした科目設定や、演習、学習を取り入れ、学科間の連携を図る。また、地域との交流ができる行事を取り入れ、地域で対象を支える看護の必要性や看護師の役割を学ばせたい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育で培われた経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブラーニングにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	現在、通信制教育制度の変更により、2年課程の入学希望者が減少している。その中で、選ばれる学校になるために、准看護学科併設の特徴を生かして、5年一貫教育を打ち出している。次年度の入試は、男子学生の募集も決定している。また、地域との繋がりを生かした学校行事や理学・放射科併設の強みを生かした多職種連携教育を考えている。	現行の教育内容の評価を進め、カリキュラムの見直しを継続していく。今後のカリキュラム改正に向けて、早期の点検・見直し、検討を計画的に、具体的に進めていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人より、中長期経営計画が打ち出され、学院の課題と戦略の方向性が掲げられている。それを基に、教育理念に沿った教育方針から学校の運営方針を立てている。年度初めに科長会議に諮られ、その後各科の教員に方針が伝達されて共通理解に繋がっている。	年間の運営方針についての評価を、各教員が中間評価、最終評価として行った。その評価時に意識は高まるが、常に運営方針を意識した状態で業務に取り組めるようにしていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校運営方針と教育方針をもとに、各学年担任が年間の学年目標をたてている。前期・後期で目標に沿って進めることができたかの評価を行っている。同時に、個人目標の設定も行い、年度末に評価を行っている。	学年目標に対し、授業、実習、教科外活動を進めて行く中で、目標の達成度を確認していくために、年度末に面談を行っている。中間での面談も行い、見直し、課題の明確化を行う。個人目標に対しては、目標設定、中間評価、最終評価の面談を継続していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありがたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校運営にあたり、組織図のもと、教務会、科長会、主任会、その他各種委員会を設置し、科長・主任が中心となり委員会を開催している。学校運営のために、各委員会での役割を遂行すべく、月1回の委員会の中で協議を行っている。	委員会活動は定期的実施し、年度末に委員会活動の報告を行っている。今後も社会の動向や看護教育現場で必要とされていることを情報収集し、活動を継続していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校の組織は、学院長、事務長、教務部長、教務副部長、教務科長、教務主任、専任教員で構成されている。各学年は、担任制をとり、それを補佐する教員を配置している。各学年の運営には、科長、主任が指導・管理にあっている。実習に関する事項は、主任が役割を担っている。	専任教員は、規程の人員を満たしていない。そのため、担任を補佐する教員数の不足がある。授業や実習は他学科との協力が不可欠である。教員の専門性や、学生の特徴を踏まえた教育体制を整える必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	人事・給料に関する規程は定められている。役割等級制度も明確化しており、毎年定期的に人事評価が行われている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
	3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラム構成のもと、年次毎の教育内容、実施方針を編成している。専任教員には周知を図ったうえで、学生にも入学時に説明し、周知を行っている。	教育理念に基づいて、各分野の科目構成がされており、実施方針を定めている。専任教員の周知を徹底し、実施方針に沿った授業、実習内容への見直し、検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育カリキュラムガイダンスには、「学年別到達目標」として、教育目標に沿って各学年次の到達目標を明記している。	教育到達レベルは明確にしているが、評価基準が明確ではなかったため新たに作成し、学生と教員で統一した評価基準となるようにした。その評価基準で実施し、結果を分析していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿って、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野Ⅰ」「専門分野Ⅱ」「統合分野」「臨地実習」を構成している。各分野の考え方や、どのような学生を育成したいかを挙げ、科目設定を行っている。各授業科目には、シラバスがあり、始講時に学生に配布、周知している。	カリキュラム改正に向けて、早急に教育内容の見直しが必要である。教育理念・目的・目標に沿った科目設定となっているか、重複はないかを検討し、社会の動向・ニーズに対応できる看護専門職の育成に繋がる教育課程の編成を行っていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学科の学生は有資格者の学生のため、内部・外部講師とは教育課程をもとに、学生のレディネスに合わせた講義内容になるよう調整を図っている。実習関連施設とも実習調整会議を行い、意見を反映させている。	教育課程の内容をもとに、外部講師や実習関連施設と連携・調整を行い、さらに効果的な教育へと繋がるよう、協力を図っていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門職業人としての高い知識・技術・感性を身につけ、医療チームの中心となる看護師の育成を目指している。教育内容は准看護師教育からさらに高度な内容を心がけ、各学年目標においても、教育内容や教科外活動と関連して学びが深まるように設定している。	准看護学科での教育基盤を、応用力や科学的根拠に基づいた看護に繋げられるよう、教育を実施している。准看護学科での既習内容と重複せず、より専門性の高い教育を提供していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に規定された専任教員の数が確保できていない。すべての専任教員が看護教員養成講習会を受講しているわけではなく、教員の経験年数が多様である。	資格・要件を備えた教員確保に向けた努力を継続する。そのためには、教員養成講習会受講のための協力体制を強化する。新人教員が離職せずに定着していける職場環境を整備することが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保する努力を継続して行っている。課題としては、大阪府看護教員養成講習会未受講教員の講習会受講が挙げられる。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各教員は、専門領域の研修に年1回は参加するように、目標として掲げている。個人的に自己研鑽を年間目標に挙げ、達成に向けて努力をしている。年4回の教務会の中では、伝達講習や資質向上のための勉強会等、取り組みを行っている。	業務改善と教員の協力体制の強化を図り、各教員の経験に応じた、資質向上のための研鑽を積めるようにする。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	外部講師、学内教員ともに、授業評価を全科目行った。実習評価は、中間評価で課題の明確化を行い、最終評価へと繋げるようにした。学習の4段階評価と基準を同じく行えるように、実習評価の評価項目・基準を見直し、移行中である。	授業評価、実習評価共に、評価内容の分析、次年度への課題の抽出、改善に向けて進めていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいたきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則・成績査定内規により、「単位認定」「学習評価」「追・再試験」「臨地実習評価」等の科目履修許可及び卒業に関する必要事項を定めている。また、留保された科目についても「認定試験」として規定を定めて運用している。	各科目の出席状況は、学生と共に把握しており、時間数不足で単位に影響が出ないように管理している。年度末には、進級判定・卒業判定として成績査定内規に沿って成績を出している。成績・出欠に関しては学生の自己管理であるが、意識としては低い。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各学年で行った行事、学習、実習については、学内で発表や報告会を行っている。クラス内だけではなく、他学年の学生や教員も報告会に参加し、双方に学びや刺激となり、共有ができていく。	実習の成果は、学内で学生、教員のみで発表を行っている。異学年同士で学びを共有することで、刺激となっているため、継続していく。実習指導者の参加があると、学生や学生の学びの成果を知る機会となる。また学内のみでなく、外部に向けて学びを発表し、いけるように看護研究についての意識を高めていく。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師免許を取得するにあたり、教育課程の中の各分野で、何を学習するのかを入学時から学生に説明している。教科外活動や各実習においても、目的・目標があり、その都度何を学んで、最終的に各自が目標とする看護師像に近づけるのかを意識させている。	入学時の教育課程の説明時に、専門職業人として、准看護師教育の基盤の上に高い知識・技術・感性を身につけることの必要性を伝えている。学生は、各科目の必要性や実習での学びを繋げて考えることができているのか、学期及び学年ごとに意識の確認が必要である。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家試験委員を中心に、計画を立て対策を行っている。国家試験対策は1年次から行い、2年次、3年次で段階的に内容を変えて取り組んでいる。学習課題は学生の弱点、得意分野を把握したうえで選択している。学習成果の上がない学生には個別面談を行い、学習支援を行っている。	1年次は学生の意識として低いのが現状である。本格的に対策に入るのが、3年次の実習終了後であり、学生の不安も大きくなる。それまでに学生が主体的に国家試験を意識した学習を行えるように支援する必要がある。学習面だけでなく、精神的サポートも教員間で統一していく必要がある。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	准看護師免許を有している学生であるため、各施設で業務を行いながら、その施設での奨学金制度を受けている。卒業後は奨学金貸与施設への就職が多く、法人就職者は、30名中4名であった。	法人から打ち出された、法人への就職の目標は第2看護学科で5名となっている。教務部長より、就職面談が前期に行われるため、継続して実施し、就職困難者を出さないようにする。就職先が未定の学生には法人への就職を検討するよう働きかけを行っていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次より国家試験対策に取り組み、2019年度の国家試験合格率は100%であった。	2018年度の合格率が低下したため、原因と対策、課題を明確に打ち出している。年度により学生の様相は変化するが、2018年度の課題をふまえて、100%合格を継続するために、各学年での国家試験対策を強化していく。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各学年とも5月に個別面談を行っている。担任より学生の状況報告が科長にあり、学科会議でも報告があるため、学科教員全体で学生の情報共有、サポートができています。学生には入学時に、法人の担当者にカウンセリングの相談が行えることを伝えている。	法人でのカウンセリングを希望する場合は、教員にも報告する必要はないとしている。そのため、相談の実態は把握できていないが、常に学生に関心を持ち、教員から声をかけ、相談しやすい環境を作ることが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学科行事が少なく、学生が有資格者であり、自立生活者が多いため、保護者との連絡、連携は少ない。成績に関することや、進級に関する連絡・調整の必要性がある場合は、受験時の連帯保証人にあたる人物に連絡をとるように統一している。	学科として保護者説明会を行う予定はないが、保護者からの苦情が多くなっている現状では、今後検討が必要である。自立した社会人学生ではあるが、自分で判断し、行動できる学生も少なくなってきたことは考慮していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教室の環境は40人対応の広さである。パソコン等の機器類は各クラスに設置しており、視聴覚教材は整っている。看護教育に必要な設備・用具は最低限揃っているが、物品の古さや使用頻度の少ないものが多くある。建物自体も築年数が経ち、老朽化している。	指定規則上必要な物品は揃っているが、老朽化している物が多く、型も古くなっているため、定期的に点検を行い必要な物は購入し直すようにする。教員は、備品の使用方法の理解を深め、教育の場で活用していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大阪府看護協会主催の研修会等に積極的に参加し、他の准看学校と情報提供等を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護学校訪問に加え、業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護学校生徒の高年齢化と、通信制養成校の躍進により、受験生の減少が著しく、定員確保が難しい状況である。この厳しい状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は大きく減少しているのと、合格者の入学辞退が多かったため、目標の入学者32名の確保ができなかった。	准看護学科生徒の高齢化と通信制進学コースの躍進により、目標入学者数を確保するのが非常に困難な状況である。試験科目の見直しと、男子学生受け入れの検討をしていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習に関する個人情報の遵守は、各実習前オリエンテーションで説明を行い、誓約書を記入、持参して実習に臨んでいる。個人情報を守れなかった場合の懲戒処分についても学則、実習ガイダンスに記載したものを説明している。教員も学生の個人情報保護に努めている。	実習に関する個人情報保護は規定通り遵守できているため、現行のまま継続していく。学生同士のSNSでのトラブルについて、学則で規定を定めているが、学生の意識としては低いため、機会教育を行っていく。教員も自身がまず情報管理を徹底していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習評価は、内容を改善し教員と学 生が内容を共有できるものにし、進め ている。授業評価についても全科目の 評価を実施した。	自己点検・自己評価を実施し、学校の 現状、問題点の把握ができた。今後 は、教員全員で自校の教育の現状を 共有、見直し検討をしていく必要があ ると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会医療専門学院 准看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念及び教育目標、育人材像を定めており、生徒には入学時のガイダンスで説明をしている。	教育理念・目的・目標は、学則に定められている。また、生徒にも周知を図るため入学時に新入生ガイダンスを配布し説明している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護の専門職として求められる専門知識、技術を身につけてた准看護師の育成に努めている。また、協調性を重視しており、生徒同士で助け合い、仲間意識を持てるような環境づくりに努めている。それらは、他職種と連携しながら准看護師としての役割を実践できる人材育成ニーズに適合している。	専門の知識・技術・態度を身につけ、柔軟に対応できる准看護師の育成に努めている。就職率は100%ではあるが、進学率は50%程度である。看護師の質向上に向け、進学に向けたサポートを継続していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教職員での理念を周知し教育活動の取り組みができるように努力をしている。豊かな人間性を育てるために、基礎分野や教科外活動に感性を養う内容を取り入れている。	病院附属の学校であることや1クラス少人数制、担任制などの特色を生かし、生徒指導に力を注いでいる。豊かな人間形成を重視し、看護師としての感性を高め、進学につなげるよう取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	10代～50代までの生徒がいる年齢層が幅広いクラスであり、目的意識も高く社会人を経験した学生も多くいるため考え方が多様である。様々な生活背景にもかかわらず学べる学習環境である。	経済的理由から仕事と学業の両立を希望する受験生も少なくない。医療は多様化、複雑化しており、臨床判断能力、多職種連携など高いスキルをもつ看護師の育成が求められていることから、2022年の新カリキュラム改正に向け、現行のカリキュラム評価に取り組んでいるところである。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営会議を月に1回開催し、全学科全学年の状況共有している。法人からの方針や指示を教員全体に伝達している。運営方針については、教育理念に沿った教育目標を基に、学校運営方針を定めている。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議にて、学校運営方針を確認し、看護学科、診療放射線技師科、理学療法士科と取り組み状況について情報の共有を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	年度始めに、学校運営方針を立て、それを基に各学年担任が前期・後期の学年方針を立てている。前期・後期で計画を振り返り、方針の修正を行い年度末には総括を行い評価をしている。	法人の中長期計画に基づき、学院の事業方針が定められる。運営会議で事業方針を確認し、科長会、教務会で、教員全員へも周知を図っている。事業方針に沿ってそれぞれの役割をもって業績目標を打ち出し、目標達成に向けて取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありがたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会、科長会、主任会、その他各委員会を設置し開催し活動を実施している。また、年度末には委員会報告を行っている。	学院長、事務長、各学科の教務科長をメンバーとする運営会議を月一回実施し、学校運営の適正化を図っている。看護学科は3課程あり、3課程合同の教務科長会、学科会議、教務会、各種委員会を設置・開催している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会を設け、学院運営会議での審議決定事項を伝達し、実務との調整を行っている。各学年に担任制を取り入れ教員の配置をしている。	教員の業務分掌・服務規程は学則に定められており、教務科長・主任を含めた教員5名を配置している。各クラスの担任、副担任、専門領域を明確にしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規定に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	カリキュラムおよびシラバスにより各年次の教育内容、実施方針を定めている。2022年度の新カリキュラムに向けて、カリキュラム・シラバスの見直し検討している。	教育理念に沿った教育課程は編成されており、学生に向けた「教育カリキュラムガイダンス」を作成している。入学時にはガイダンスを用いてオリエンテーションを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則細則により各年次の科目履修規定を設けている。学科目に対しては、評価点の基準を設けている。授業と実習については修了時に評価を行い、教育到達レベルを検証し見直しを行っている。	修業年限に応じた教育到達レベルは、「教育カリキュラムガイダンス」に明確にしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程は、指定規則に沿って構成している。その中の科目立てでは、教育目的・目標に沿った科目を組み入れている。授業科目については、シラバスを作成し、授業の始講時に生徒に配布している。	教育目的、目標に沿った教育課程の編成が実施されている。従業員に応じた教育到達レベル目標、科目設定・科目目標を設定している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院が作成したカリキュラムに基づき講義を依頼している。必要であれば資格試験の傾向を考慮した講義内容を講師に求める場合もあり、専任教員と講師の意見交換の場を設けている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進度状況など情報の共有やシラバスをもとに教育内容について積極的に交換し、効果的な教育に向けて努力している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護師資格の取得と、専門職としての自己研鑽という観点で生徒への学習の促しは実施できている。職業人としての自覚や態度を身につけるキャリア教育については、各実習において学ぶことが多い。戴帽式等催しは、生徒自身がそれぞれの役割担当を決め、お互いの意見を出し合いながら協力し、練習から実施までを進めている。この一からものを創り上げていく体験は、准看護師という将来の職業に就くにあたり、役立っている。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会を生き抜くための社会人基礎力の修得に向けて教育を実施している。実施した教育が具体的にどのようなキャリア教育へとつながるのか卒業教育と照らし合わせ、明確にしておく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師養成指定規則に基づき、要件を満たしている教員を確保している。専任教員は、看護教員養成講習会の受講を終了している。	臨床経験が5年以上あり、また大阪府の教員養成講習会を受講している教員5名を確保している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	全専任教員が年3回の教務会の課題に取り組んでいる。また、自己研鑽を目的に施設外で開催される研修会に年1回以上参加し、専任教員の資質向上に取り組んでいる。	施設外の研修では大阪府看護学校協議会・看護協会主催の研修会や学会、教育研修事業に参加し自己研鑽している。施設内では勉強会や伝達講習会などを開催し、教育の質向上に努めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員と外部講師の行う講義・演習については授業評価を実施している。担当講義科目の終講後に生徒全員を対象として講義アンケートを実施しているが、課題の分析までには至っていない。同様に実習の評価は行っているが、課題分析までには至っていないため、努力していく必要がある。	学生の授業評価は実施しているが、実施者側の結果の活用は十分に図れていない。実習評価は、学生と担当者の双方で評価を行い、次に繋げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいたきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	出席率を満たした生徒は、学則や細則に定めた成績評価を受けている。成績評価を受けた生徒に対しては、学則や細則に定めた進級と卒業の判定を行っている。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、運営会議で報告している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	2年生は事例学習のまとめ発表を行い、この発表に教員も参加することで学びを共有している。この事例学習のまとめ発表には1年生も参加しており、早期の学習意欲向上に繋がっている。	課題学習発表会や事例学習発表会など、学年で企画・実施しており、学科の教員も参加し、成果を把握している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	目標とする准看護師資格取得のため、日々学習の大切さを常に指導しており、1年次より努力を積み重ねていくことの重要性を諭している。また、実習と准看護師資格試験合格のための学習を結び付け、効率の良い学習指導を行っている。	准看護師の資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	目標とする准看護師資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	1年次より准看護師資格試験対策を行っている。低学年模試を行い、その結果をふまえて学習の動機づけを行い、知識が定着できるように指導を行っている。2年次では准看護師資格試験問題集を活用し、実習とリンクしながら計画的に学習を進めている。また、准看護師資格試験の模擬テストを3回実施し、個人の学習到達状況を把握しながら、個々の准看護師資格試験対策を立案・実施している。	資格試験対策委員会を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	准看護師資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	6割程度の生徒が関連施設に就職しており、その大多数が設置主体法人の奨学金制度を利用している。	進学率は約50%である。就職率は100%であり、経済的事情から就職を希望している場合が多い。主な就職先はクリニックや介護施設、療養型病院である。実習体験を通して看護職の魅力を伝えるように努力している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	2019年度准看護師資格試験の合格率は100%である。	資格試験合格率は創立以来100%を維持している。模擬試験や卒業試験で学習成果を確認し、個別の学習支援やメンタルサポートを実施している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、准看護師資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。准看護師資格試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒相談については主として担任が行うが、内容に応じて教務副部長が行う場合がある。また、相談内容に応じて、必要であれば経験豊富な教員が対応できる体制である。	担任を中心に個別の面接や相談に対応している。学業不振や登校が常でない生徒には、早期に面談等を行っている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。大阪府育英会や授業料支援補助金等の申込み事務手続きの支援も行っている。	大阪府育英会と法人修学資金制度を案内しており、8~9割の生徒が何らかの奨学金を貸与している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒の成績不振や学校生活での問題で、必要であれば生徒保護者に連絡を行い、生徒と生徒保護者との三者面談を行っている。また、戴帽式に参列した保護者には、生徒の学院生活の現状を伝え、そしてその学院生活を理解した上でのサポート要請を、生徒保護者に依頼している。	成績不振者や出席が常でない生徒に対し保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し、保護者との連携体制を構築している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全生徒及び保護者への成績開示の実現に取り組んでいただきたい。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令に定められた40人教室の平米は有しているが、生徒の机と椅子を新調した際、その机と椅子の寸法が大きくなってしまったため、教室に余裕がなく窮屈感がある。准看護師養成所に必要な施設と設備、用具については整備している。校舎の老朽化により豪雨時には雨漏りがあり、また震災等による校舎の耐久性にも不安があるため、補修工事等対策が必要である。	建物や教育用具の老朽化により、学習環境が十分に整備されていない。不具合が生じた場合は、直ちに補修工事や教育用具の整備を依頼し、実施している状況である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災に対する基本方針はあるが、防災訓練の実施内容・時期の見直しや災害時安否確認システムの整備などは喫緊の課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	5月に高校の進路指導教員対象の説明会を、当学院で実施した。また、大阪府看護協会・看護学校協議会共催の進学相談会に参加し、教育機関に対する情報提供・共有を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	生徒の募集活動は、事務職員と教員が連携し、教育活動に影響しない範囲で積極的に取り組んでいる。今後はホームページも効果的に活用し、当学院のアピール度を高めていきたい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率により、受験生の高齢化が進むと予想される。在学生在が高齢化すると進学率が下がる傾向があり、この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は減少したが定員は確保できている。	入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい生徒像を話し合い、選考基準を検討した。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	生徒個人の情報を取り扱うときは、目的を明確にし、必要な範囲内で情報を保ち、取り扱いには細心の注意を払っている。生徒が実習時に患者情報を取り扱う場合は、生徒ガイドスや実習ガイドス等でオリエンテーションを行わない、個人情報保護対策の周知徹底を行っている。実習での個人情報の取り扱いについては、生徒と誓約書を交わし、個人情報保護の徹底に努めている。	生徒や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。入学時や実習前、実習中や学校生活で生じた諸問題は全教員で情報を共有するように努めているが、看護者の倫理綱領にも個人情報保護や守秘義務に対する文言が明示してある様に、教員は生徒や教職員以外の個人情報の取り扱いについても注意を払っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検及び自己評価は実施し ている。問題点については、随時 改善していくよう努力している。	自校の教育活動その他の運営状 態の自己点検・自己評価を行い、 学校経営の現状の見直しが必要 である。教員全員が学校経営への 参加意識を持つことが必要であ る。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会第二医療専門学院 理学療法士科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・ 目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念および教育目標を定め、学内掲示スペースに表示している。	学生には1年次の早期の授業科目にて「人材像」を伝え、3年次の臨床実習前にも伝えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	新人教育担当者の指導のもとで、基本的な理学療法を実施できるというニーズに答えている。但し、現在の現場教育体制の整備状況を考慮し、卒業後すぐに現場で理学療法を実施できる人材は、少数の学生のみの育成に留まっている。	現在の社会情勢からは、即戦力の育成はあり得ない。学内教育、臨床実習、新人教育へといかに、継ぎ目のない教育が出来るかが肝心。アカデミックな部分は乏しい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教職員において、理念などの周知が不十分である。教育活動へ直接反映されていない部分も多い。	小人数教育、法人内施設を利用した臨床での教育など、特色ある職業人育成に取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、小人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	育成すべき人材と入学学生の状況を比較し、育成に必要な学習内容を変化させている。しかし、結果としては、各年次での進級判定において、十分な成果ではない学生も存在している状態である。	新カリキュラムが2020年度入学生から適応。新カリキュラムでは地域で活躍できる人材を目指す。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。放射線技師科も含めた第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期計画の中で、経営計画マスタープランを定め、共有している。	2019年度に引き続き、「ありたい姿」を目指し取り組んでいく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期計画の中で、経営計画マスタープランを定め、共有している。	2019年度に引き続き、「ありたい姿」を目指し取り組んでいく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営会議を開催し、月に一度、全学科全学年の状況を共有している。法人からの指示や方針を伝達し、調整している。	各科の役職や役割間での連携強化に努めていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会を開催し、学院運営会議からの指示および実務の調整を行っている。また、各学年に担任制で教員を配置し、2名体制をとっている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
	3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	カリキュラムおよびシラバスにより、各年次の教育内容、実施方針を定めているが、科目間での共有化や相互での分担は不十分である。	シラバスの内容のチェックが必要。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則細則により、各年次の科目履修規定を設けており、単位修得について評価点の基準を設けている。	特になし	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	心の通ったサービス提供、保健・医療・福祉の連携、これら2点については、講義・演習では不足している。実習を多く取り入れること、精神運動および認知領域の研鑽は、充実している。	授業科目だけでなく、教科外活動やホームルームなどを積極的に取り入れ、教育目標を目指している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の評価認定審査を受け、自己点検評価報告書を受領している。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	国家資格の修得、専門職としての自己研鑽、という観点で学習を促しているが、実社会での専門性や研究などのキャリア教育はできていない。	学ぶ意欲を高めるために早期から実習を取り入れ、職業人としての自分の進路を決定できるように、サポートしている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	理学療法士養成施設指定規則に基づき、要件を満たしている教員を確保している。しかし、学位に関して、学士・修士を得ていない教員も在籍している。	特になし	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教員研修規定において、職務遂行に必要な知識技能の修得および向上を目指すよう、取り組んでいる。加えて、今後導入されていく臨床能力試験などについても、資質向上に取り組んでいる。	外来診療、PT協会主催の研修会や学会への参加している。今後は、研修会での講師なども行ってもらいたい。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	学内講師について、担当科目終講後に学生全員を対象として、講義アンケートを実施し、講師の業績評価に加味している。	授業評価アンケートを前期末、後期末に実施し、各教員へフィードバック。授業改善に取り組んでもらっているので、継続してもらいたい。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績において、単位修得基準や各種試験での合格点、履修条件を定め、入学時および各学年開始時にオリエンテーションを行っている。	特になし	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業において課題を提示しグループワークをさせ、発表する授業を設けている。また、実習終了後には、個々に振り返りをさせることで、課題を明確にさせている。それらを発表させ、在校生、教員は聴講し、成果の確認を行っている。	グループワークを行い、発表する形式の授業が増えてきている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門職の養成、人間形成という観点で、常々学生に明示し、免許取得と実務のできる人材育成を公然の目標としている。	特になし	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする理学療法士国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家試験合格を目標におき、講義科目を4科目設定し、国家試験対策教員を配置した上で、継続的に学生指導にあたっている。	特になし	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理学療法士国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は100%であり、各施設からの求人票受け入れており、翌年に新年度用の求人票ひな型を送付している。	特になし	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より国家資格取得を掲げ、職業意識を高めている。卒業時には、クラス全員が一丸となり、国家試験合格を目指して、受験に臨んでいる。	特になし	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、理学療法士国家資格の取得率の向上を図るために努力を行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	少人数制の利点とし、常に学生に目を配り、相談しやすい環境を提供している。ハード面で、相談室の設置などは充実していない。	個人面談等を積極的に取り入れている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学費の猶予・分納相談に対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援もしている。	まれに病院からの奨学金の案内があるので、その都度学生にアナウンスを行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の行動や学業で問題が発生した場合、処分対象になる以前に連絡し、自宅での様子や学習状況を確認している。状況により、再度連絡、保護者面談を実施している。	成績不良者の保護者には早めに連絡を取り、必要であれば面談を行っている。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	養成施設指定規則に準じ、不足の無いように整備している。また、指定規則の数量では、実使用しにくい物品は学生の使用に耐えうる数量を用意している。	指定規則にあげられている物品やその数は揃っているが、古いものもある。臨床ではあまり目にしないものが教材となっている(特に物理療法)。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定めたと防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	防災訓練の実施も必要	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	当科の教員も参加している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。加えて、卒業生対象に学生募集要項を送付し、募集を広報した。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率、大学等養成施設の飽和状態という厳しい状況下のため、定員確保が難しい状況である。この厳しい状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、第二学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は、入学選考基準により適正に審査されている。今年度は、受験生は大きく減少した。	面接の採点表を改善した。今年度よりAO入試が開催されるため、より一層、アドミッションポリシーを理解する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は、設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の個人情報保護として、成績表や単位修得結果の掲示には配慮している。また、実習における患者個人情報については、実習施設に依頼し、持ち出し管理を行っている。	臨床実習施設において、学生が作成した記録の取り扱いがまだ徹底されていない。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検評価により確認している。問題点に関しては、随時改善するように取り組んでいる。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会第二医療専門学院 放射線技師科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念/特長としてホームページ上にも掲載しており、理念に基づいての人材育成を行っている。また、目的は学生便覧に記載している。	本学院の理念は、母体である法人と共有するもので、学院創立の源である。これを元に目的を定め、日々の教育の中に生かしていくことが求められると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生便覧に「専門知識及び技術を習得し応用能力を養い人間形成に努め優秀な医療技術者を育成」と記しており、感性豊かな人材と医療・福祉に貢献出来る人材育成を重視している。	専門的知識と技術が習得出来るように、臨床現場で活躍中の講師や母体である病院を活用して、学習者自身の主体的な意欲や探究心を高められる様な取り組みが必要と考える。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	豊かな人間形成を目的に、心理学、臨床心理学、倫理学(生命倫理学)を科目立てしている。また、同グループの看護学科と理学療法士科から講師を迎え、基礎看護介護学や機能解剖学等の特色ある学びの場を設けている。	同じ医療職である他職種学科の学びを知る機会を設けることで、様々な視点や考え方を学ぶ場を提供しているが、狙い通りに学生に伝わることが出来ているか振り返りの機会も必要と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	4年制大学の新設校が増加傾向にあるが、本学院1部では3年で免許取得が可能であるという点と、2部は夜間コースのため働きながら免許取得を目指す事が出来るという点で、大学とは別のニーズがあると考えている。	大学卒業者や社会人経験者がより学びやすい環境を整えること。また、臨床実習以外にも母体の清恵会病院を学びの場としてもっと活用していく必要があると考える。	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。理学療法士科も含めた第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念をベースに、1年間、更には5年間の目標を定め取り組んでいる。学院全体となる学院運営会議を月1回開催し報告と確認を行っている。	5年後までの定量目標や具体的な指標を決めて取り組むも、具体的な数値を交えて、放射線技師科における教務会議の場でも確認する必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	5年後までの目標値をベースに、各科が評価指標を定め、更に個々の教員の目標にまで反映させ取り組んでいる。	放射線技師科の年間目標をベースに、各学年担当者がクラスの特徴も踏まえて取り組んでいる。しかしながら、未達の目標へ更に踏み込んだ取り組みも求められる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありがたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、事務長、各科教務部長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	学院運営会議の下に、放射線技師科における教務会議を設け、月1回開催し、情報共有や報告を行っている。今後も、このペースで継続していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院長をトップに事務長、教務部長、教務科長、教務主任、担任、副担任、教務事務で構成している。また、進路担当、臨床実習担当を配置し業務に当たっている。	教員の組織体制は整っているが、経験年数の少ない教員や、昼間部と夜間部の連携等、サポート体制の更なる充実を図る必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については、設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	学院職員人事は、法人人事とも深く関連するが、専門学校の指定規則に則って配置されており、個々の能力向上を図りながら3年後5年後の先を見据えて行っていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程の編成は、学生便覧に明記している。教育理念に沿った具体的な取り組みにおいては、教務で理念を共有しながら取り組んでいる。	実施方針は、教務会議の場で確認しているが、実際に教育に反映されているのか具体的な確認作業が必要であると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	放射線技師科の目標をベースに、各学年担任が目標とその指標を定め取り組んでいる。	前期・後期で各担任によるクラス状況の報告と、指標と達成度の見込の確認を、教務主任と教務部長による面談を通じて行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程は、指定規則に従って基礎分野、専門基礎分野、専門分野で構成されており、その中に当学院独自の科目も組み込んでいる。また教科外活動という時間を設けて座学以外の勉学の場も設けている。	ここ数年、必要に応じてカリキュラムの一部変更等も行い対応してきた。数年後に指定規則の変更によるカリキュラムの改訂も見込まれており、更なる特色ある科目立てを考える必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院が作成したカリキュラムによって講義を依頼している。国家試験科目においては、学院の要望と外部講師の意見も反映している。	専門科目においては、常に最新の情報が講義に反映されるように、今後も工夫を凝らしていく必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学年次におこなっている学院卒業生による教育講演、実習前の接遇教育、学会参加等の機会を設けて対応している。	必ずしも十分とは言えないため、母体の病院を活用して、病院見学や入門実習的な機会を増やす事も考える必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師養成所指導ガイドラインの教員に関する事項に定められている要項を満たした専任教員を確保している。	本学院の専任教員は、規定以上の臨床経験を全員が有している。専門以外の講師も文科省の定める条件を満たしている。必要に応じて、規定数以上の教員配置も今後考える必要があるのではないかと。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員は様々な研修会、学会等に積極的に参加しており、関連資格の取得も含めて資質向上に取り組んでいる。	担当科目の専門性を高め、講義に反映できる取り組みを行っているが、勤務態勢を見直して更なる柔軟な体制作りも今後必要と思われる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。しかし、取り組みを行っているのだが、研修会や学会に参加しない教員がいることが課題である。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	専任教員の講義では、リアクションペーパーでの授業の感想を元に授業内容の見直しを行っていたが現在は中断している。また、外部講師の講義内容は科目によっては一任している。	今後は専任教員、外部講師共に授業評価がおこなえる方向に向けて進めていきたい。	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教務会議を行う等授業評価を実施していないわけではないが、リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学則に基づき、定められた授業科目履修規定により、筆記試験、レポート提出等により、基準を満たし者について単位認定を行っている。	前期終了時と学年終了時に成績を送付している。また不合格科目の多い学生には再試験前に指導を心がけている。今後は、不合格にさせない為の取り組み方も考えていかなければならないと考えている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	臨床実習前に、班ごとに勉強した成果をクラスメイト、専任教員、また臨床実習施設指導者を交えた中でスライド発表として行い、採点を行う等の取り組みを行っている。	今後は、可能であれば下級生等の参加も考えてみる必要があるが、多人数の入る教室等がなく今後の課題といえる。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学院での最終目標は、診療放射線技師免許の取得であり、国家試験を意識した授業内容を行うよう取り組んでいる。	1年次から最終学年次まで1科目も無駄な科目など無いと言うことを認識させ、積み重ねの大切さを理解させるような術の検討が必要である。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	目標とする診療放射線技師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	最終学年では7月以降、留年生では4月以降、毎月国家試験模擬試験を実施し、個々の学習到達状況を把握し、国家試験に向けた対策につなげている。既卒者の受け入れも行っている。	国家試験への対策は最終学年からが本格的な指導となるが、昼間部生は前期が臨床実習となるため、現在2年次後半からの対策も必要と考えている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	診療放射線技師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	本校は就職率100%を維持している。	長年就職率100%を維持し続けているが、大学3年次編入学という進学への指導も積極的に行っていきたい。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	2019年度の診療放射線技師国家試験の新卒合格率は88.6%であった。	2020年度は90%以上を目標に、更なる指導を行う必要がある。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	対策授業や補講、実力試験の実施等、診療放射線技師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携を強化し、全教員で取り組んでいただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時や新学年次始めに、必ず担任が面談を行いコミュニケーションを図ることで、相談しやすい環境作りに取り組んでいる。特に相談件数の多い就職の相談においては、放射線技師免許保持の教員全員が対応可能である。	放射線技師科は昼間部と夜間部があることから相談時間が限られる場合もあり、全教員が必要に応じて相談に応じれる体制が必要で、情報共有も密に取る必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学費の猶予・分納相談に対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。夜間部生に対しては、医療現場での仕事の紹介も行っている。	希望者全員に病院(医療現場)での仕事を斡旋出来ないところが課題として上げられる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時の個人面談時に、可能な範囲で家族のことや学校からの連絡先や連絡相手の確認を行っている。成績や学院生活等で必要に応じて連絡を取り合っている。	特に今まで大きな問題は生じていないが、国家試験に対する自宅学習時の指導等、密な連携を要する学生もおり、対策を図る必要も今後生ずると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師養成所指導ガイドラインで定められている教育上必要な機械器具、標本及び模型を整備している。	開校当初に揃えた用具や機器は古くなったものも多く、今後は用具や機器の更新の必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されているが、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	18歳人口の減少、2019年入試では医・薬といった資格系が不人気とのデータもあり、今後更なる情報提供が必要となると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率、大阪府内養成校(大学)2校の増設という厳しい状況下のため、定員確保が難しい状況である。その中でも特に2部(夜間部)の定員確保は非常に困難な状況であり、将来的に2部(夜間部)をどの様にしていくのか結論をだすためには、第二学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は減少傾向にあり、特に2部(夜間部)の減少が著しい。	2部(夜間部)におけるAO入試を、社会人向けにわかりやす広める必要性があるのではないかと。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時に学生便覧に基づき、SNS規定等しっかりとオリエンテーションを行っている。また、臨床実習前にはガイドブックを用いたオリエンテーションと同意書の提出を求めている。	学院内における情報の取扱、臨床実習時の患者情報の取扱、電子記憶媒体の取扱など、事あるごとに必ず全員に伝わるようにする必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員個々が年間計画を立てて4 月、10月、年度末に自己評価と教 務部長、教務主任と面談を行って いる。	個々の問題点を教務の問題点とし て、教職員全体で共有し改善に役 立てる必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。